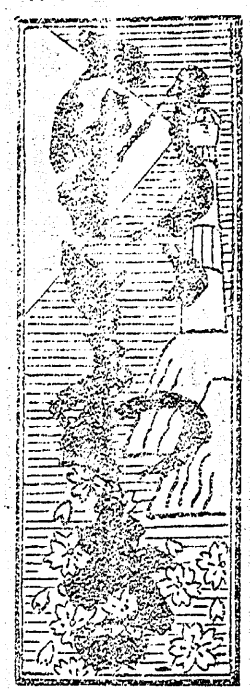
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　【日刊】昭和九年六月五日　新いわき　【火曜日】第二千百九十五號　（一）

六月四日　夕刊



休日　日曜祭日
郵税十五錢　一部二錢
一ヶ月　二十五錢
賣捌料　一行　四十錢
場所指定　式拾錢增
發行兼編輯印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

一週一言

繭價の暴落に養蚕家が脅へてゐる折柄、我が國に於ける代表的の沼津繭市場が突然閉鎖されたことは蚕家に對して更に大なる不安を與へたが同市場外靜岡繭糸組合の十八繭市場が同縣の信聯に百萬圓で居ぬきのまゝ買收され繭市場の非常時を兎にも角にも解決されたことは結構である、

× ×

繭市場の行詰りは云ふ迄もなく資金回收の困難からで回收の思はしくない原因は今日までの造り方に缺陷があるからである、現在の市場に肉眼鑑定でなく正しい格付をなす設備がないと云ふことも其の一つではあるが實際問題としては市場を利用する製糸家の質でなからうかに思ふ、

× ×

市場と云ふものゝ仕事は繭を集めるところ、そして其れを販賣する所と云ふだけならば無難であるが同所を利用する製糸家には小製糸家と云ふよりも不良製糸家と見られる樣なのが原料購入資金に乏しい爲めの利用が多く其の影響が繭市場をして動きを取れなくして終ふ事が少なくない、

× ×

其れに適當な方法を考へられなければ大製糸家や有力な製糸家の特約取引が年と共に增加されつゝある現況に於て市場の健全なる發達は困難であらう、而して市場の存在は繭價の公正を立てる上に於て特約取引を刺戟し相當の力あるを認められる間は從來の弊を改めて是正策を講じて貰ひたく思ふ、

× ×

縣保障の購繭資金の如き勿論無暗とそれをなす譯には行くまいが市場の經營狀態に參照すると云ふ點に於て唯單に現在の内容を見るのみでなく既往と將來にも愼重な考慮を置いて欲しく乾繭共同保管の如きも應急策として惡くはあるまいが製糸家を離れて繭の處分がつかない限り奬勵が過ぎれば却て養蠶家を援ける所似でなくなりはせぬかと吾れ等には氣遣はれても來る、

×

出席七百名に及ぶ
石城教育部會總會
講演は兒童保護の諸問題に就て
會員の視察談と研究發表

石城教育部會の總集會は昨三日午前九時から平町第一小學校講堂に於て開催されたが出席七百名に達する盛會で既報せる勤續功勞者の表彰及び役員の改選を行ひ

會長篠山平第一校長　副會長津田平第二校長　西山小名濱校長◇縣代議員篠山平第一◇東部聯合代議員入選　野　磐崎　赤井第一　高久　渡戸各校長

を決し議事に移つて建議題に磐城高女の學級增加、年功加俸の規程通り給與を可決次へで談話題では教員の互助會實施に對する意見の交換後佐藤内郷高坂校長の滿鮮視察談、舟生勇氏の縣外視察報告並びに會員左記の研究發表ありて講師東京大富小學校長推名龍德氏の「兒童保護の諸問題」と題する社會事業から說き起して有益なる講演を終り午後三時散會した

研究發表國史教育による民俗意識確立に就ての一考察（大和田一美）日本圖畫教育の內面觀（橋本正雄）教育學の再吟味提唱（坂本明）以上

常識講座

トンチン法と云ふのは伊太利の銀行家トンチンの考案した保險法で同年令のものが集つて醵金し合ひ一定年限の後に生存したものが分配する方法だ、トンチンカンと間違はぬ樣に

大臣賞を目標に
小麥增收競技會
昨年の不成績に斷然奮起した
石城の撰拔出品二十三名

縣下小麥耕作者の最高榮冠である農林大臣賞を獲得せんとする第二回の同栽培增收競技會は昨年（第一回）安積郡豐田村國分龜松氏の反當收量五石九斗七升四合六勺（一升重量三百九十一匁五）に優等を占められ次へで一等は田村郡と相馬郡に之れに對して石城郡では五十點の出品に於て夏井村の下大越第一農事實行組合の三石九斗二升九合五勺（一升重量三八三匁）が漸く三等に加へられて以下四等に僅かに十二點を得たるのみであつた不成績から本年は此の辱を雪ぐべく豫ねて郡農會に於て出品者を撰拔中であつたが愈よ左記二十三名を決した各當業者は少なくとも一等を目標としての意氣込みなので今年の成績を興味されてゐる

鄉村永井傳內　金成源治
荒井一二　星平助◇勿來猪狩新一◇上遠野雲藤勇　生田目軍治郎　櫛田謙二　川原農事實行組合◇川部蛭田喜代秋◇平町高烏亥之吉◇夏井村下大越第二農事實行組合◇高久鈴木正一　猪狩興作　志賀季三郎◇江名及川富士太郎◇好間鈴木源平◇大浦山野邊寅藏◇四倉田島一◇大野藥王寺農事實行組合　渡邊鑛　鈴木虎之助◇平窪矢吹平一（以上）

東鄉家から
禮狀

青沼平町長宛

東鄉元帥の薨去に對し平町國防研究會長青沼町長から弔電を贈つたことは既報の如くであるが今四日嗣子彪氏から平町長宛左記禮狀があつた

故元帥海軍大將大勳位侯爵東鄉平八郎薨去の際は郷重なる弔詞を忝ふし御厚志難有奉存候、
玆に謹て御禮申上候、

平青年幹部會と
体修両部委員會

平町青年團では昨三日午後七時マルトモ樓上に於て幹部會並びに体育、修養部の委員會を開き前記兩部長外過般の總會に未決定の役員を左記に決した後本年度の行事に關して打合せをなす

体育部長佐々木俊男　理事佐藤源吉　佐藤信夫
修養部長大嶺庫　理事山崎忠兵衛　蛭田千代松
郡評議員加藤正康　補缺藥谷喜太郎（以上）

石城町村長支會
の總會

石城郡町村長支會では來る九日午前十時から平町會議事堂に於て總會を開催し評議員十名の滿期（二ヶ年）改選その他を付議すると

小學校教員の
職服制定
遲くも本年末頃までに決定か

石城郡教育部會の總集會に於て教員の互相會創設に對して意見の交換ありたることは別項所報の如くであるが本縣教育界にも一つの新しい計畫は職服の制定で目下考案中の如く如何なる服裝に決定するか遲くも本年末頃までには出來るであらうと

農村産業組合
（14）　内務省社會局

以下のとも別の處に記し重復の嫌ひはあるが産業組合が都市に發達せず農村に於ても大區域を範圍とするものとりは小區域を範圍とするものに於てよい成績をあげてゐるのは相互の結び合ひが堅く確りしてゐるからであるそれは外でもない、朝晩顏を合せておれば自然と相互扶助の心が湧くのが人情である、一昨年であつたか、後藤農相が喧しく叫ばれてゐる農村の非常時を救ふには昔から農村に傳はる美風であるところの、この相互扶助心を涵養せねばならぬといふ訓令を出したのも尤も千萬なことで、おそらく後藤農相は先に述べた部落組合を昔の五人組のやうに働かせ、それを産業組合の手足にしたいと思つて居られるとであらう

話は少々横道に外れたが、五人組制度より産業組合に近いものに報德社がある、報德社は修身で有名な二宮尊德翁の指導にかゝり、その指導精神のなかには道德的要素が多分に含まれてゐるが、報德社の仕事は今日の産業組合、特に信用組合のそれによほどよく似て居り、二宮尊德翁が晩年に作られた興事業は亦今日農林省經濟更生部がやつてゐる農村更生事業と相共通するものが多い、

下つて、明治初期における組合の發展狀態（正確にいへば、今日の組合の濫觴とも云ふべきもの）を見るに、明治十一年には群馬縣に生糸の販賣をやる碓氷社が生れ、十三年には同じやうな仕事をする甘樂社と云ふものが農民の手生の仕事としてやつた農村復興事業は亦今日農林省經濟更生部がやつてゐる農村更生事業と相共通するものが多い、

下つて、明治初期における組合の發展狀態（正確にいへば、今日の組合の濫觴とも云ふべきもの）を見るに、明治十一年には群馬縣に生糸の販賣をやる碓氷社が生れ、十三年には同じやうな仕事をする甘樂社と云ふものが農民の手で作られた

注射料を拂はぬ上
窃盜して逃る女
昨年來石城の病醫院を荒した
宮城生れのモヒ中毒患者

宮城縣柴田郡村田町字小泉八生れ當時住所不定無職小原久子（三九）はモヒ中毒患者で昨年以來石城地方を浪々してゐるが毎日注射なくして生きて行けない藥費に窮し平町の病醫院から內郷村の高萩醫院及び磐城、入山の炭鑛病院等ナルコポン、スコポラミンの注射を頼み小時の休憩に借りた看護婦室その他から衣類現金類を窃取し注射料は一文も支拂はず逃走してゐる平町酒井醫院からの看護婦小松きく所有箪笥より衣類二點價七圓及び湯本町氏名不詳の女髮結宅から現金一圓を窃取せるを初め數十件に上る詐欺窃盜を平署に發覺檢擧取調中であるが賓春行爲も數多ある模樣である

夏井川改修へ四
百圓寄付

石城郡夏井村では同村大字山崎西端の夏井川改修工事の難工事に對して去る三十一日平町國体事務所に同村議及び平土木監督所長その他關係者會見の結果經費不充分なものへ四百圓を寄付することになつた

磐城炭礦勝つ

磐城炭礦と福鐵の野球戰は昨三日磐炭球場に於て催されたが十八對九で福炭惜敗した

新線日記（一）
大森勇

五月十日、東京日々新聞の第二面に、詐欺團の首魁は意外元樺太長官、平岡定太郎氏が糸を引いて僞御親筆を賣ると云ふ見出しで、從四位勳三等平岡定太郎氏（七二）が詐欺團の仲間である事が報導されてある、高位高官の人の犯罪行爲は近頃珍らしい事ではないが、平岡氏のこの事件が私を頗る憂鬱にさせたのは理由がある。私は明治三十六年に仙台の第一中學校を卒業した。現在も然る如く三十二年前の當時に於ても中學校の卒業式には知事樣か又はその代理が出席して訓示をなしたものだ私の時の卒業式には時の內務部長平岡定太郎氏が知事樣の代理として臨席し一場の訓示をなされた。訓示の內容は、あせつてはならぬ、スローリー、バット、ステッデリーでなければならぬと云ふのだつた、平岡氏のこの英語の發音がうまかつたので、スローリー、バット、ステッデリーと云ふ言語が私の耳の中にこびりついてしまつた。散歩し乍らも、入浴し乍らも、スローリー、バット、ステッデリーを無意識的に連發する樣になつた。平岡氏は今年七十二才だと云ふからあの時は丁度四十才だつた譯だが溢るゝ許りの元氣で場を壓した平岡氏の雄々しい姿が當時の私には崇拜めいたもの〻一つであつた

明五日故東鄉元帥閣下國葬當日は敬弔の意を表し臨時休業仕候
昭和九年六月四日
石城郡銀行組合

農業欄

品種改良の話

（三）農試本場　天辰生

然し今分れた二つの細胞核は之れで完全に受精が出來る樣に染色体の半數をもつてゐるのであるけれども一見不必要とも思はれる普通の分裂を今一回行ふ、この分裂では各染色体は半分づゝ縱に裂けるのである、こゝで初めて卵細胞若しくは精子細胞が受精の準備整つて出來上るのである即ち一つの生殖細胞を作ることになる、遺傳の秘密を擔ふ染色体の行動に於て異同がない以上本質的にはさまで重要なことではあるまいけれども卵細胞と精子細ぼうとでは細ぼうの分裂に於て差異が認められてゐる、精子細ぼうでは四個のものが皆同一の機能と活動力を具へてゐるに反して卵細ぼうにあつては發生の切期に營養として役立つ卵異が茲で四等分されては不足なのであらう、そのために分裂に際して卵異は不等分に分れる結果として出來た四個の中たゞ一個だけが十分な卵異をもつてゐるだけで殘りの三個は極小形で間もなく消滅してしまふ、それで受精に役立つは唯一個のみである、

偖て、はなしを染色体の各對が並んでそれが兩分して行く點に戻さねばならない、我々は茲で一つて難關に逢着するといふのは對の染色体の並び及び分裂の仕方によつて出來た二つの核は父方から來た染色体と母方のそれとをどんな仕組にもつてゐるかと云ふ點が說明されなければならないだらう、若し一方の側には總て父方から來た染色体が並び反對側に母方から來た染色体が並べばそこで出來る二つの細ぼうの一つは全部の染色体を父方から由來し他の一つは全部母方から由來することになる、けれども常にこんな場合だけが起つてゐるであらうか、

淋病最新藥
美神淋藥
一週分　四、五〇
二週分　八、〇〇
代理店　平町　山野邊藥局

パラソル と 日傘
例年御定評を頂く當店特選の
優秀な新柄を豐富に取り揃へて
ツルヤ　電一四〇

内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番
入院需應

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

磐城名産特賣所
御土産物には鄕
石城みやげ
七濱の生産品
地元産の果實
平みやげ
名菓各種
土の名産が第一
平町驛前

産科　婦人科　院長
外科　醫學博士　木村寅次郎
藥局　藥劑師　内木宗八
玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

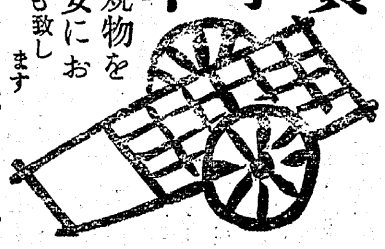
安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壤を惡變する處は絶對にありません
一俵　參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
〝貨物自動車〟の御用命に應じます

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

（磐城共濟病院）福島縣平町（電話六四一番）
院長　醫學博士　石山謙郎
内科、小兒科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二
産婦人科　部長　醫學士　齋藤七五三男
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　前澤正
皮膚泌尿器病科花柳病科　醫學士　山謙郎
X光線療物科　醫學博士　石山彪
衛生試驗所獸醫科技術員　高後利雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（電話二七二番）
（電話三七〇番）
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
●…病室完備…入院隨意…●

スペインG.H.N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

貸手車
新規物を格安にお讓も致します
平町大町若松醫院隣　牛谷



耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●